

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|---|----------------|----------------|----------------|----------------|--|-----------------|
| 補助事業名 | 芦屋飛行場関連公共用施設（産業の振興に寄与する施設：上高倉・猿田水路）整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 岡垣町長 | | | | | | |
| 実施場所 | 福岡県遠賀郡岡垣町大字高倉字猿田 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 当該水路は、未整備の土水路のため、土砂堆積により、周辺耕作地への取水に支障が生じており、土砂撤去を含む維持管理に多大な労力を要し、耕作に苦慮している。 今回、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で、コンクリート水路を整備することにより、土砂堆積を防ぎ、周辺耕作地への取水を容易にし、維持管理の負担軽減を図るものである。 | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 実施設計、コンクリート水路 L=125m | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成25年度～平成27年度 | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 25年度 | 26年度 | 26年度 | 27年度 | | 計 |
| | 事業費 | 円 1,050,000 | 円 1,728,000 | 円 4,050,000 | 円 7,884,000 | | 円 14,712,000 |
| | 交付金額 | 1,047,000 | 1,728,000 | 4,017,000 | 7,600,000 | | 14,392,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <p>地元説明の際に、この事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金によるものであることを説明し周知を図った。</p> <p>また、「特定防衛施設周辺整備調整交付金により水路を整備しています。」記載された看板を現地に掲示し周知した。</p> <p>維持管理を1年間実施後アンケートを受益者（耕作者3名）に実施した。結果は、3名とも負担は軽くなり、うまく取水出来る様になった、2名は堆積土砂も減ったとの回答であり、負担軽減を図ることができた。</p> | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 無 | | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|---|----------------|----------------|----------------|----------------|--|-----------------|
| 補助事業名 | 芦屋飛行場関連公共用施設（交通施設：古森・古鍋田線）整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 岡垣町長 | | | | | | |
| 実施場所 | 福岡県遠賀郡岡垣町山田峠 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 町道古森・古鍋田線は地域住民の重要な生活道路であるが、現況道路側溝の断面不足による雨水の道路への溢水により近隣住民の通行に支障をきたしている状況にある。 今回、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で道路側溝の改良工事を実施することにより、排水機能の改善を図り、また、歩行者等の安全性を確保し、地域住民の生活基盤整備を図ることを目的とする。 | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 道路側溝改良 延長 L.L=189.9m、RL=200.3m | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成24年度から平成27年度 | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | | 計 |
| | 事業費 | 円 3,780,000 | 円 4,404,750 | 円 4,572,720 | 円 4,374,000 | | 円 17,131,470 |
| | 交付金額 | 3,700,000 | 4,200,000 | 4,500,000 | 4,300,000 | | 16,700,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | 道路側溝が整備されたことで、排水機能が改善されていたことを現地にて確認した。また、地域住民から「排水に支障がなくなり、蓋設置により安全な歩行が容易になった」等の意見が寄せられており、地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。 周知については、地元への施工通知書及び工事看板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を記載した。 | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 無 | | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事 業 評 価 書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|---|----------------|----------------|--|--|--|----------------|
| 補助事業名 | 芦屋飛行場関連公共施設 (交通施設：東山田区1号線 道路側溝改良工事) 整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 岡垣町長 | | | | | | |
| 実施場所 | 福岡県遠賀郡岡垣町東山田一丁目 | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | 町道東山田区1号線は地域住民の重要な生活道路であるが、現況道路側溝の断面不足による雨水の道路への溢水により近隣住民の通行に支障をきたしているため、側溝改良の要望があり、検証の結果、早急な補修が必要であると判断し、側溝改良工事を実施した。 調整交付金事業で工事を実施することにより、地域住民の生活基盤の整備を図る。 | | | | | | |
| 補助事業の内容 | 道路側溝改良 延長 R.L=106.2m L.L=104.7m | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成26年度から平成27年度 | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 26年度 | 27年度 | | | | 計 |
| | 事業費 | 円 4,950,720 | 円 4,104,000 | | | | 円 9,054,720 |
| | 交付金額 | 4,750,000 | 4,000,000 | | | | 8,750,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | 道路側溝が整備されたことで、排水機能が改善されたことを現地にて確認した。また、地域住民から「排水に支障がなくなり、蓋設置により安全な歩行が容易になった」との意見が寄せられており、地域住民の生活環境の改善に寄与することができた。 周知については、施工通知および工事看板にて行った。 | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 無 | | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

注1：基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分別及び基金残額についても記載すること。

注2：事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

| | | | | | | | |
|-----------------------------|---|-----------------|----------------|---|---|---|-----------------|
| 補助事業名 | 芦屋飛行場関連公共施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：岡垣サンリーアイフィットネスジム）整備事業 | | | | | | |
| 補助事業者名 | 岡垣町長 | | | | | | |
| 実施場所 | 福岡県遠賀郡岡垣町野間1丁目2番1号 岡垣サンリーアイフィットネスジム | | | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | <p>岡垣サンリーアイフィットネスジムは、様々な年齢層の住民に利用されているスポーツ施設である。（年間利用者約3万人）</p> <p>また、岡垣町は高齢化率が約30.4%（27.10.1現在）と県内でも高くなっており、ジム利用者も約35%が60歳以上である。高齢者にも利用しやすい有酸素マシンやリラクゼーションマシンへ大規模に更新することで、利用者を増やし、住民の健康増進を図ることを目的とする。</p> | | | | | | |
| 補助事業の内容 | <p>フィットネスジム用機器購入</p> <p>26年度実績：体組成計1台、有酸素マシン18台、リラクゼーションマシン4台、筋力トレーニングマシン2台</p> <p>27年度実績：筋力トレーニングマシン8台</p> | | | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 平成26年度から平成27年度 | | | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 26年度 | 27年度 | | | | 計 |
| | 事業費 | 円 11,984,420 | 円 5,162,400 | 円 | 円 | 円 | 円 17,146,820 |
| | 交付金額 | 11,792,000 | 5,000,000 | | | | 16,792,000 |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況 | <p>利用者アンケートを実施した結果、7割以上がマシンについて「大いに満足又は満足」とするとともに、9割以上が今後もフィットネスジムを利用したいと回答されており、利便性向上による効果を確認することができた。</p> <p>また、マシン更新後（27年度）は更新前と比較すると利用者が年間3700人増加し、住民の健康増進にも寄与できている。</p> <p>周知については、広報おかがき（4/10号）に掲載及びフィットネスジム室内外にチラシを掲示し、利用者へ周知している。</p> | | | | | | |
| 事業の改善措置及び今後の対応 | 無 | | | | | | |
| 事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無 | 無 | | | | | | |

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分量及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。